

2021札幌ライラックチャレンジ

レベル別規則（点数配分と計算方法）

1. レベル別ルール表

2020/10/15

* 競技規則・・・2017年～2020年（公財）日本体操協会競技規則（日体協HP確認事項を含む）

レベル	種目	D	参加基準
チャンピオンの部 シニア	2	身体難度BD 3～9難度（シニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低1回 AD 最低1個	2020年度・2021年度 全道1ヶ年16位入賞者 北海道新体操大会 高校2種目の部3位入賞者 全道中体連6位までの入賞者 北海道新体操大会 中学2種目の部3位入賞者
チャンピオンの部 ジュニア		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	全日本Jr出場者 全国中体連出場者 全国1ヶ年14位出場者 北海道JrAクラス3位以内 ライチャレレベル7・1～3位入賞者
8	1	身体難度DB 3～9難度（シニアルール） 身体難度DB 3～7難度（ジュニアルール） W 最低2個 R（シニア最高5・ジュニア最高4） DA（1～シニア最高20・ジュニア最高15） ステップシリーズS 最低2回	新ルールにて参加してみたい方 （シニア・ジュニア）
7		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	2021 ライチャレ レベル7・4～6入賞者 レベル6・6位入賞者 全道中体連出場経験対象
6		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	2021 ライチャレ レベル5・6位入賞者 または 全道大会2種目経験小学生対象
5		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個（一回転でOK） ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	2021 ライチャレ レベル4・6位入賞者 または 中学生対象 高校2部
4		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個（一回転でOK） ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	2021 ライチャレ レベル3・6位入賞者 または 小学生対象 徒手レベル2 6位入賞者
3		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） Rは入れないこと ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	競技歴2年以内 *小学高学年～中学生までが望ましい 2021 ライチャレ レベル2・6位入賞者
2		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） Rは入れないこと ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	競技歴2年以内 *未就学児・小学低学年～中学 年までが望ましい

※前年度・今年度各全道大会において2種目以上で出場していた選手は、レベル6以上に出場すること

※過年度徒手レベル2入賞者は手具レベル4以上に出場すること（レベル3以下には出られません）

※レベル2・3のRについて、演技中に実施した場合カウントはしない。また減点もしない。

※レベル2・3・4についてはBDはE3・0.5点までの誤差でも加点とする。

※高校2部の選手についてはレベル5以上です。

※今年度に限り、レベル8を新ルールにチャレンジする部門とします。（シニア・ジュニア）

※レベル8はシニア・ジュニアの出場選手の高得点者にティアラを贈呈します。
 ※全てのレベルにおいて、同点優勝の場合はE得点の高いほうにティアラを贈呈します。

徒手レベル	種目	ルール詳細
2		5難度（ジャンプ2 バランス2 ローテーション1）左右同難度 ステップシリーズ最低1個 ①身体難度は右、左で実施 ②ステップシリーズ ③徒手レベル2についてはマルチプルローティションの使用は認めない ④難度については若干の許容あり（0.5誤差でも加点とする） ☆小学3・4年生☆
1		3難度（ジャンプ1、バランス1、ローテーション1） ステップシリーズ最低2個 ①6番ルルベバランス（2秒以上） ②垂直とび（間をおかずに連続二回以上） ③ルルベ歩き（前のみ連続最低6歩以上） ④スキップ（最低4歩以上） ※①～④はすべて0.2点 ※①～④は全て単独で行うこと ※ステップシリーズの中に①～④を入れても加点とならない ※同じ難度の繰り返しは無効とする ※アクロバットは難度の前後に行うもののみ加点となる ※指定した難度以外は加点とならない ☆未就学児～小学1・2年生☆

※徒手レベル1・2についてはBDはE3・0.5点誤差でも加点とする。
 ※徒手レベルは指定された学年より上のレベルに出ることは可能だが下のレベルに出ることは禁止
 ※徒手レベルは規定数以外の難度（0.2以上）を行った場合は0.3の減点とする

団体

レベル	種目	適用ルール	要求難度
Jr	1手具で自由選択	2017年～2020年日本体操協会競技規則・採点規則Jrルール	☆難度（D） ・交換を伴うED（最低3個） ※チャイルドのみ（2～3個） ・交換を伴わないBD（最低3個） ☆ダンスステップコンビネーションS 最低2個 ☆回転と投げを伴ったダイナミック要素R 最高1個 ☆関係C 最低4個
Sr	自由選択	2017年～2020年日本体操協会競技規則・採点規則Srルール	☆難度（D） ・交換を伴うED（最低4個） ・交換を伴わないBD（最低4個） ☆ダンスステップコンビネーションS 最低1個 ☆回転と投げを伴ったダイナミック要素R 最高1個 ☆関係C 最低4個
徒手団体ジュニア	徒手	別紙参照	
徒手団体チャイルド	徒手	別紙参照	

☆徒手団体

2020/3/25

〈人数〉 4人～8人 4人～8人であれば減点無し
 〈主旨〉 全身を使った正しいフォームの習得を目指す

■点数配分

要素/配分	技術的価値 (D) 各身体難度1.0MAX	注意及び関連事項	実施 (E) 10.00 (減点)
ボディムーブメント Max 1.4	1. ウェーブ (波動) 0.2 2. スイング (振動) 0.2 3. ベンディング (屈曲) 0.2 4. リリース (脱力) 0.2 5. リーン/ランジェ (傾斜) 0.2 6. ツイスト (ひねり) 0.2 7. コントラクション (収縮) 0.2	・全て単独での加点。各1回 ・組織的に同時に実施 ・組織的に素早い連続による実施 ・カノンによる実施 ・コントラストによる実施	
身体難度BD 4～7 難度	ジャンプ/リープ 最低1個 0.1～ バランス 最低1個 0.1～ ローテーション 最低1個 0.1～ 自由選択 最低1個～最高4個 0.1～ (ミックス難度など)	・難度は同時または次々と サブグループではなく全員で行う ・カノンで行うのは禁止 ・自由選択の難度は異なるタイプと 価値にて実施してもよい	
アームムーブメント Max 0.4	最低3種類の腕の動きの 組み合わせで 2つ 各0.2	・腕の動きとは腕の波動、振り、回旋や拍手など移動中、立位、座位で使用可。	
ダンスステップ コンビネーション 2つ以上	8秒以上 各0.3	・1個の価値が0.1を超えないBDを 伴ってもよい ・アームムーブメントと合わせて 行ってもよい 全員で行う事 (カノンでもよい)	
アクロバット要素 Max 0.4	2つ異なるアクロバット要素 各0.2	・全員で同種類のを同時に実施 または素早い連続による実施 ・カノンによる実施もよい	
関係C ジュニア最高15個 チャイルド最高10個	回転を伴った関係 最低1個 0.3 回転を伴わない関係 最低3個 0.2	・回転を伴った関係はパートナーの 上、下、中をくぐりぬける事 ・回転を伴わない関係も同様	
注意点		・身体難度及び関係について不足は減点する (多いものはカウントしない) ・難度のカウントは実施順にカウントする ・フォーメーションは最低6個 ・アクロバットで使った回転は関係では使えない ・関係で一度使った回転は他の関係または単独での使用はできない (異なる面・高さ・方向・身体の動きであればよい) ※例・・・床前転と身体上の前転可能 ・関係でリフトを1度のみ行ってもよい (チャイルドは禁止) ・人を持ち上げて移動や引きずる場合2歩までは良い ・人の上を歩く場合1歩までとする。(2歩以上は禁止) ・ダンスステップが1個の場合は減点となる ・ダンスステップ中にアクロバット回転は禁止	-0.3 -0.3 -0.3 -0.3 ノーカウント -0.3 -0.3 -0.3 -0.3 -0.3

※ ジュニア (小学6年～中学3年) ・チャイルド (幼児～小学5年) とする

2021/10/17

2022 ライラックチャレンジ レベル8（新ルールチャレンジクラス）について

札幌体操連盟審判部

平素より札幌体操連盟の事業へのご理解、ご参加を頂きましてありがとうございます。
今回、2022 ライラックチャレンジのレベル8を新ルール対応クラスとさせていただくことを決めた経緯、意図をお伝えし、より多くの皆様にこの大会へのご参加を検討していただきたく思います。

レベル8を新ルールクラスにした経緯

従来、ライラックチャレンジにおけるレベル8はシニアルール対応のクラスであり、次年度シニアルールに挑戦する選手などが主に参加しているクラスです。
シニア（高校生）の新ルールの適応になる公式大会時期が早い選手の場合3月から始まり高体連は5月から始まるため、既に次年度のルール改正に対応するべく演技を直し始めていたり、独自で新ルールの研究を始めている選手は少なくありません。
2月に開催予定のライラックチャレンジに参加するために現行のルールに戻す、もしくは変更時期を遅らせるということが参加選手のためになるのかという点で、参加者の年齢層を鑑みて従来通りのルールでは参加者の減少が見込まれるクラスを思い切って新ルールにチャレンジをするクラス、今大会に限り特別なクラスとして置くことに致しました。

新ルールにチャレンジするクラスを作る意図

この夏にFIGより英文ではありますが、2022からのルールが正式に公開され、翻訳の機能やインターネット等の普及により既に多くの新ルールに関する講習会や勉強会などが開催されています。1月には1種審判義務研修など新ルールへの移行は従来よりもスピードが増しています。上記のシニア層に関わらず新ルールの練習を始める次世代のジュニア選手などにも、この機会に新しいルールにチャレンジしてみることもできるよう、今回に限り年齢や経歴を問わずチャレンジしたい選手を受け入れたいと思います。特設クラスのため次年度のチャレンジはこのレベル8に出たことに関しての制限はありません。

また、審判についても講習会、研修会を受けてから早い時期に新しいルールでの審判をすることは大変、意義のあることでもあり、審判にとっても大きなチャンスであり、チャレンジであると考えられます。

現行のルールを年度の区切りまで集大成として頑張っている選手にも、新しいルールに挑戦してみたい選手にもチャレンジをできる環境をつくり、そして、このチャレンジクラスに参加をしなくても、新しいルールについて調べてみたり、興味を持っていただける機会となることを目的としています。

2022 ライラックチャレンジ 新体操男子個人競技 レベル別規則

日本体操協会競技規則および採点規則一部改定を適用する。ただし次のレベル別規則を優先とする。

レベル	種目数	難度不足による減点	必要難度について	難度の詳細について	構成点(満点)	実施点(満点)	合計点(満点)	参加制限
レベル8	4	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・1 D 3 C 2 Bの難度を入れること。	特記事項なし	～10.0	～10.0	～20.0	制限なし
レベル7	2	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・2 D 2 C 2 B以上の難度を入れること。	投げ受け・タンプリングともにD難度の技を入れること。	～10.0	～10.0	～20.0	制限なし
レベル6	2	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・1 D 3 C 2 Bの難度を入れること。	投げ受け・タンプリングともにC難度以上の技を入れること。かつ、D難度の技を入れること。	～8.0	～10.0	～18.0	制限なし
レベル5	2	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・3 C 2 Bの難度を入れること。	投げ受け・タンプリングともにC難度以上の技を入れること。	～7.0	～10.0	～17.0	制限なし
レベル4	2	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・1 C 2 Bの難度を入れること。	特記事項なし	～6.0	～10.0	～16.0	制限なし
レベル3	2	B難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・2 Bの難度を入れること。	特記事項なし	～5.0	～10.0	～15.0	制限なし
レベル2	1	A難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・1 Aの難度を入れること。	特記事項なし	～4.5	～10.0	～14.5	小学生まで
レベル1	徒手	特記事項なし	・日本体操協会 個人徒手ルールに準ずる	ジュニアルールを採用する。	～10.0	～10.0	～20.0	制限なし

- (1) レベル2に出場する選手は、スティック・リング・ロープ・クラブから1種目を選択すること。
- (2) レベル3～7に参加する選手は、スティック・ロープから1種目、リング・クラブから1種目を選択すること。
- (3) 各レベルの要求された難度の数以上の難度は、ランク下の難度として数えることができるが評価の対象ではない。
- (4) レベル3、レベル4で上位3位になった選手は、次の年は上のレベルに出場しなければならない。
- (5) 前年度参加したレベルより、下のレベルには参加できない。(レベル1徒手とレベル8を除く)
- (6) レベル2～8は高体連一部競技規則に準ずる。

2022 ライラックチャレンジ 新体操男子団体競技 規則

日本体操協会競技規則および採点規則一部改定を適用する。

レベル	種目	必要難度について	難度の詳細について	構成点(満点)	実施点(満点)	合計点(満点)	参加制限
レベル2	徒手	D難度を1つ以上、C難度を3つ以上、B難度を2つ以上入れなければならない	高校・一般の部については高体連一部競技規則に準ずる。	～10.0	～10.0	～20.0	制限なし
レベル1	徒手	D難度を1つ以上、C難度を2つ以上、B難度を2つ以上入れなければならない	小中学生の部についてはジュニア規則に準ずる。	～10.0	～10.0	～20.0	制限なし